

オーケストラ・プライベート・エクイティESGポリシー

発効日：2021年1月1日

環境・社会・ガバナンス（以下「ESG」といいます）に関する問題は、オーケストラ・プライベート・エクイティ（以下「当社」といいます）と投資先企業が活動するコミュニティに大きな影響を与えるものです。当社は、一連の投資プロセスにESGに関する原則を取り入れることが、すべてのステークホルダーにとっての長期的な価値を創出するという当社のミッションの実現に寄与すると考えます。

本ESGポリシーは、当社の従業員が従うべき共通の価値基準と責任ある企業活動の指針を提供するものです。当社の理念は、持続可能な価値を創造することにより長期的な価値を創造することにあります。ESGにも配慮した明確な投資基準を設けることで、投資リスクを軽減することができ、また、投資戦略を通じてステークホルダーにとって長期的な価値を提供できると考えます。当社は、投資家の皆様からお預かりした資金を、責任を持って管理・運用し、ESGに関する目標の達成に向けて努めてまいります。

基本原則

当社は、次に掲げる基本原則に基づいてESGに関する問題に取り組んでまいります。

- 私たちは、新規投資、投資ビークル及び合弁事業のデュー・デリジェンス、新規投資の計画策定プロセス、既存投資先での価値の創出、投資先企業のモニタリングなど、一連の投資プロセスを通じて、ESGに関する要素を評価に反映します。
- 私たちは、投資先企業の経営陣と協力し、環境、安全衛生、人権、労働問題、コーポレート・ガバナンスなど、様々なESGに関する問題に対する意識を高めるよう努めます。また、投資家の皆様に対する受託者責任のもと、商業的に実務的な形で、これらの領域における重大なリスクや悪影響を軽減するよう努めます。
- 私たちは、私たちの事業活動が環境に与える影響を積極的に考慮するよう努めます。
- 私たちは、投資家の皆様とのコミュニケーションを通じて、ESGに関する問題に対する取り組みについて報告を行い、透明性を高めるよう努めます。

投資プロセス、投資家の皆様とのコミュニケーションにおける、ESGに関する当社の取り組みの詳細は、以下のセクションに記載しています。

投資

投資プロセス

当社は、デュー・デリジェンス、投資計画の策定、クロージング後のモニタリングと価値創出など、投資プロセスの各段階でESGに関する要素を反映するよう努めます。

- デュー・デリジェンス：私たちは、新規投資の検討段階において、当該投資に係るESGに関連する重要なリスクと機会を評価します。これらのESG関連のリスクと機会は、投資委員会報告書において、各投資先に応じて適切に、デュー・デリジェンスの結果として報告されます。私たちは、対象となる投資先の長期的な財務パフォーマンスに重大な影響を与える、ま

たは与える可能性のあるESGに関する問題を発見し、必要に応じて外部のアドバイザーに助言を求めます。また、私たちは、関連性のある範囲で、対象企業のガバナンス体制に関連する条件を契約書類などに組み入れるよう交渉します。

- 継続的なモニタリングと価値創出：継続的なモニタリングは、ESGに関連する重大な問題が適切に取り扱われることを確保し、また、これらの問題が経済的損害またはレピュテーションの毀損という形で現実化することを未然に防ぎ、結果として投資先の企業価値を向上させると考えます。私たちは、環境規制、社会的・倫理的な事業ガイドラインやコーポレート・ガバナンスの重大な違反など、事業計画や財務計画からの逸脱の特定、分析し、事前に対処できるよう努めます。

投資審査

当社はデュー・デリジェンスのプロセスにおいて、ESGに関連する一定の要素についてスクリーニングを実施します。当社は、非人道的武器、タバコ、ポルノ産業、未規制の賭博・ギャンブル、化石燃料の生産（石油、天然ガスや石炭の保存、掘削や鉱業を含みます。）など、特定の事業に主に従事する企業への投資を行わないよう努めます。

デュー・デリジェンスを通じて、過去に児童労働の搾取、個人や労働者の権利の深刻な侵害、汚職、環境に深刻な悪影響を与える事業などを行った企業を特定し、それらの企業に対する投資を行わないよう努めます。

当社内部の取り組み

当社は、当社の事業に関わるESGに関する問題に対して積極的に取り組むことを約束します。

環境

当社は、当社の事業活動が環境に配慮した、エネルギー効率の高いものであるよう努めます。

社会

当社の成功は、当社で経験を積んだ優秀な従業員によってもたらされるものであると考えます。当社は、従業員や当社が属するコミュニティとより良い関係を築くため、次に掲げる要素を重視します。

- 多様性：私たちは、多文化的なバックグラウンドが、私たちの企業文化に豊かな多様性をもたらし、私たちの国際的な企業文化が醸成されると考えます。
- 教育：私たちは、ESGに関する問題、コンプライアンス、ハラスメント防止、専門能力の開発など、様々な要素を組み込んだ研修プログラムを提供します。ESGに関する責任を果たすために、各従業員の業績評価において、ESGに関する指標を考慮します。
- 従業員の安全衛生：私たちは、法律で定められた労働安全衛生に関する規制を遵守するとともに、従業員に様々な福利厚生を提供します。

ガバナンス

当社の経営陣は、長期的な成功と健全な企業経営のためには、効果的なコーポレート・ガバナンスの導入と維持が重要な要素であると考えます。

当社のコーポレート・ガバナンスは、次に掲げるチームや委員会によって実施されています。

- 投資委員会：私たちは、マネージングパートナーの金原ジェイとCFOのイヴィツァ・トゥル

ザの2名で構成される投資委員会を設置し、投資委員会が、投資チームの提案に基づいて、投資や売却に係る意思決定を行います。

- 投資チーム：案件ソーシング、デュー・デリジェンス、クロージングや投資先企業の運営・管理・売却を担当します。投資チームの各メンバーは、案件の性質や状況に応じて、各々の能力が発揮されるように、特定の役割を重点的に担当するケースがあります。
- 管理部門：キャピタルコール、利益分配、投資家向け広報活動、コンプライアンス、会計・財務・税務など、事務・管理業務を行います。

コンプライアンス・プログラム

経営陣は、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する企業文化を全社に浸透、醸成し、CFOであるイヴィツァ・トゥルザがこれを監督します。

当社が委託する第三者機関であるPrincipium Consultingが、当社のコンプライアンスポリシーを含むコンプライアンス・プログラムを管理します。Principium Consultingと当社CFOは、当社事業の変化、規制の改正動向などに対応するよう、当社のコンプライアンスポリシーやコンプライアンス・プログラムを更新し、改善します。Principium Consultingは必要に応じて当社経営陣へのレポートを行うこともあります。

また、監督・監査機能を担う役員及び従業員は、当社の倫理規範に規定される基準に従って、他の従業員を監督することが求められます。

倫理規範の違反があった場合、監督・監査機能を担う役員または従業員からPrincipium Consultingにレポートが行われ（またはPrincipium Consultingから経営陣へのレポートが行われ）、当該違反者は違反の内容に応じて処分されます。

投資家の皆様への事業報告・コミュニケーション

当社は、投資家の皆様への事業報告とコミュニケーションの透明性を確保します。当社は、ESGへの取り組みの状況を投資家の皆様に開示し、重要なマイルストーンの達成を定期的に報告します。

事業報告とコミュニケーションに関する主要な取り組みとして、次に掲げるものがあります。

- 開示：本ESGポリシーは、投資家の皆様に開示されます。
- 四半期報告書・年次投資家総会資料・諮問委員会資料：ESGに関する重要なアップデートは、四半期報告書、年次投資家総会資料及び諮問委員会資料において取り扱われます。
- 投資家の皆様・諮問委員会：ESGに関する取り組みの重要な進捗状況は、定例会議や臨時会議を通じて、投資家の皆様に報告します。

当社は、ESGに関連する報告の内容や方法に関して、投資家の皆様からのご意見をお待ちしています。

オーケストラ・プライベート・エクイティESGポリシーは、2021年1月1日に発効しました。本ESGポリシーは変更される可能性があり、少なくとも2年に1回の見直しを行います。